

科目名	慢性看護学Ⅳ特論 Advanced Lecture on Chronic Care Nursing Ⅳ
授業形態	講義
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	春BC学期 木曜1・2時限
実施場所	共同利用棟B 204
単位数	2単位
担当教員名	日高紀久江 Hidaka Kikue 安梅勅江 Anme Tokie 浅野 美礼 Asano Yoshihiro 柴山大賀 Shibayama Taiga 非常勤講師:岡美智代
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	
オフィスアワー等	事前に確認し訪室すること
授業の到達目標 (学習成果)	慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制、および質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について学ぶ。
他の授業科目との関連	
履修条件	特になし。
授業概要	講義で教授した総論的知識を、学生自身がさらに深めてプレゼンテーションをし、それをもとに教員や学生同士で討論を行う。
キーワード	慢性病(chronic disease)、保健医療サービス(healthcare services)、福祉サービス(welfare services)、地域社会支援(Community support)
授業計画	1・2(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(1)総論(日高) 3・4(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(2)医療保険と診療報酬体系(日高) 5・6(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(3)障害者手帳(日高) 7(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(4)介護保険制度(日高) 8(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(5)障害者総合支援法(日高) 9(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(6)難病の医療費助成制度(日高) 10(/)慢性病者を支える保健・医療・福祉制度(7)予防・健康増進事業(日高) 11・12(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(1)ピアサポート(日高) 13・14(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(2)コミュニティー・エンパワメント(安梅) 15・16(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(3)看護情報の管理(浅野) 17・18(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(4)EASEプログラムの理論と実践(岡) 19・20(/)質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策(5)ADL拡大を目指した支援技術(日高)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	病いとともに生きる人々の立場に立って、背景にある問題の具体例や解決方法について、積極的に思考する態度をもつこと。自ら諸理論の解釈をおこない、教員や学生同士でその活用方法の討論によって、臨床(研究)現場における応用力を向上させること。
成績評価方法	評価方法と評価配分 発表と討論の内容(50%)、レポート(50%) 評価基準 1 慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制について説明できる。 2 質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について説明できる。 3 保健医療福祉サービスの視点から事例を検討し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 4 地域や在宅での療養を支援する方法について理解し、慢性看護の質の向上に反映させるための方向性を提示できる。 5 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。 上記に対応した評価基準は以下のとおりである。 A+ 上記1～5を自身で達成できる。 A 上記1～5をほぼ自身で達成できる。 B 上記1～5を教員の指導を受けながら達成できる。 C 上記1～5を教員の指導を受けながら概ね達成できる。 D 上記1～5を教員の指導のもとでも達成できない。
教材・参考文献・配布資料等	適宜参考資料を提示する。

その他(受講生にのぞむことや 受講上の注意点等)	わからないことは、その場で質問し解決すること。
-----------------------------	-------------------------